

令和3年度

# 事業報告書

公益財団法人 新潟県健康づくり財団

## 令和3年度事業報告書

### 【 概 要 】

令和3年度は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症が世界的に政治、経済、社会に大きな影響を及ぼす中での事業実施となった。

新潟県は、新型コロナウイルスの新規感染者が減少したとして、令和2年12月17日から継続していた県独自の警報を令和3年7月1日に注意報に移行したものの、16日には再び警報、8月30日には特別警報を発令するなど混沌たる対応となった。しかし、再び感染が拡大したことから、令和4年1月21日からはまん延防止等重点措置適用となったが、3月6日をもって終了することとなった。

このような状況の中で、昨年度と同様に、市町村では、健（検）診規模が縮小され、健（検）診対象者が感染への不安から受診をためらうなど、健（検）診者数がコロナ禍前の数値に回復することはなかった。

受診者数が減少することによりがんの発見が遅れ、今後、進行がんの増加が懸念される。当財団として、コロナ禍においても健（検）診の受診は“早期発見・早期治療”のために非常に重要で、健（検）診会場では健（検）診機関が感染症対策を徹底し、安全に受診できること等を広報事業により県民に訴えた。

結果として当財団における前年度比では、がん検診等は15.0%、特定健康診査は12.8%の受診者が増加した。

また、講演会や研修会、会議等も新型コロナウイルス感染症流行の状況を見ながら、関係者と協議した上で、中止や延期、WEBでの開催とせざるを得ない状況であった。

このような状況下においても、当財団として、県、市町村や医師会、新潟大学を始めとした県内大学との連携により、がんその他の生活習慣病の予防・早期発見等の健康づくりに関する公衆衛生の向上及び高齢者の福祉の増進に必要な事業を可能な限り行った。

### 【 公益目的事業 】

県民の健康の保持増進については、健康寿命の延伸を図るため、一次予防及び二次予防事業を中心に以下に記載の事業を実施した。

#### 《一次予防》 “がんを含めた生活習慣病の予防知識の啓発”

普及啓発事業として、新聞、ラジオ、YouTube、JR 電車内広告、フリーペーパー等を活用し、“健（検）診受診”が生活習慣病やがん等の早期発見・早期治療のために重要であり、コロナ禍においても過度な受診控えをしないよう広く県民に訴えた。

教育現場からのニーズが高い「がん教育」について、中学生を対象に行った。今年度は、12中学校（参加生徒1,924人）で開催した。

また、今年度の新規事業として、中学生に対し、歯や口の健康づくりについての正しい知識の啓発活動として、3中学校で講演会を開催した。

生徒に行ったアンケート調査から、虫歯や歯周病、歯磨きの大切さ等について理解してもらうことができた。

啓発イベントでは、10月1日に柏崎市での開催を予定していた「がん征圧新潟県大会」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。「ピンクリボンホリデー」はハイブリッド開催とし、市町村と行う講演会は、加茂市、津南町で開催した。そして他団体が開催する健康イベントにも出展し、健（検）診受診に関する普及啓発活動を行った。

## 《二次予防》“受診率、検診精度の向上に向けた取り組み”

(特定健康診査について)

「新潟県健診保健指導支援協議会」を通じて、特定健診受診率の向上、効果的な特定健診の実施のため、健診データの評価分析や健診従事者への研修事業等を実施した。

(各種がん検診について)

がん検診事業をより円滑に実施するため、検診従事者の資質向上を目的に、がん検診セミナー等を開催し、受診率の向上、がんの早期発見、診断等に必要な知識及び技術の習得を図った。

また、5大がんについては、市町村、検診機関から集めたデータから“検診と精密検査”の統計結果を作成し、更に発見がんに対する疫学調査により発見されたがんの病期等の詳細な情報を関係機関にフィードバックすることで検診精度の向上につなげた。

## **【 収益事業 】**

当財団の財務基盤の強化を図るための主な収益事業として、本来、特定健診実施機関が行う特定健診料金を請求するための健診結果の電子データ作成について、当財団に委託を希望する健診実施機関からの代行（476 機関）や個人結果通知書作成業務（2市 56 機関）を有償で受託し、健診実施機関における事務作業の軽減を図った。

## 〈 理事会・評議員会等開催状況 〉

次のとおり開催し、付議事項について議決された。

### 第30回 定例理事会

開催日： 令和3年6月9日（水）

場 所： 新潟県医師会館

決議事項： 第1号議案 「令和2年度事業報告」について

第2号議案 「令和2年度決算報告」について

第3号議案 「評議員の交代」について

第4号議案 「定時評議員会の開催日時及び場所並びに目的等」  
について

### 第31回 定例理事会

開催日： 令和4年3月17日（木）

場 所： 新潟県医師会館

決議事項： 第1号議案「令和4年度事業計画」について

第2号議案「令和4年度収支予算」について

### 第19回 定時評議員会

開催日： 令和3年6月25日（金）

場 所： 新潟県医師会館

決議事項： 第1号議案「令和2年度事業報告」について

第2号議案「令和2年度決算報告」について

第3号議案「評議員の交代」について

報告事項： （1）「令和3年度事業計画」について

（2）「令和3年度収支予算」について

### 令和2年度事業・決算監査

開催日： 令和3年5月27日（木）

場 所： 財団会議室

監 査： （1）令和2年度事業報告について

（2）令和2年度決算報告について

# [ 公益目的事業 ]

## I 特定健診・特定保健指導支援事業

「新潟県健診保健指導支援協議会」と連携し、市町村国保を始めとする医療保険者が実施する特定健診・特定保健指導事業等の後方支援に努めた。

※特定健診実施数（後期高齢者健診等を含む）

30市町村国保及び県内3国保組合      221,908人      (196,677人)  
( )内は令和2年度実施数

### 1 健診の円滑な実施のための取組み

#### (1) 特定健診・特定保健指導委託契約に係る事務

本財団が特定健診・特定保健指導実施機関の契約代表者となり、委託者の市町村(国保)と業務委託契約を締結し、特定健診・特定保健指導の全県統一方式(健診の均質化)の推進、健診事業の効率化を図った。

また、特定健診未受診者に係る「情報提供事業」について、医療機関の契約代表者となり、委託者の市町村(国保)と業務委託契約を締結し、市町村の保健事業の推進支援に努めた(新規事業)。

参加市町村数 13、参加医療機関数 306

#### (2) 市町村健康診査等担当者研修会（「II がん検診等受託事業」と共同事業）

健康診査事業の円滑な推進を図るため、健康増進法及び高齢者の医療の確保に関する法律等の業務に従事する新任担当者等に対し、次のとおり研修会を開催した。

開催日： 令和3年5月20日（木）～6月18日（金）

開催方法： WEB開催（オンデマンド配信）

閲覧数： 133回

#### (3) 健康診査事業合同打合せ会（「II がん検診等受託事業」と共同事業）

令和4年度の健康診査事業等を円滑に推進するため、市町村、県健康福祉(環境)部、検診機関、郡市医師会等の担当者を対象として、県、県医師会、県国保連の協力により、次のとおり開催した。

開催日： 令和4年2月15日（火）～3月11日（金）

開催方法： WEB開催（オンデマンド配信）

申込者数： 251人

#### (4) 健診委員会

新潟県健診保健指導支援協議会が設置した特定健診に関する事項を検討する健診委員会（委員長 新潟県立大学人間生活学部・健康栄養学科教授 田邊直仁）を運営し、令和4年度特定健診料金（案）について協議した。

#### (5) 印刷物の企画、印刷・配付・斡旋等

個人記録票や質問票など健(検)診に使用する記録用紙について、各市町村及び健(検)診機関の必要部数を取りまとめ、一括印刷・配布を行うことにより、健(検)診の全県統一方式の推進とともに、健(検)診事業の効率化を図った。

#### (6) 普及啓発用備品整備貸出等 (Ⅲ 生活習慣病予防普及啓発等事業と共同事業)

市町村等の関係機関に対し、生活習慣病予防に関するタペストリー、血管年齢測定機器等の健康教育資材の貸出を行った。（貸出件数 17件）

#### (7) 特定健診・特定保健指導受診勧奨用品提供

市町村国保・県内3国保組合及び新潟県健診保健指導支援協議会構成団体が、各種イベントなどにおいて、特定健診の啓発のために配布するポケットティッシュ、ウェットティッシュ等を提供し、特定健診受診の意識向上を図った。

### 2 特定健診データ等の評価分析等

市町村国保等の健康施策の作成等に資するため、特定健診等の結果集計報告を基に全県的な分析を行い、市町村比較が容易となるよう資料を作成し、財団ホームページに掲載した。

### 3 健康づくりと健診受診率向上等に向けた普及啓発活動

#### (1) 市町村と共同で開催する講演会 (Ⅱがん検診等受託事業と共同事業)

生活習慣病に関する正しい知識の普及と特定健診・特定保健指導の受診勧奨を目的として、次のとおり津南町、加茂市で開催した。

##### ア 津南町生活習慣病予防講演会

開催日： 令和3年11月2日（火）

場所： 津南町総合センター 職業指導室

参加者： 20人

内容： 生活習慣病予防講座「口腔ケア」について

講師： 新潟大学大学院医歯学総合研究科

口腔健康科学講座う蝕学分野 教授 野村 由一郎

- イ 加茂市生活習慣病予防講演会  
開催日： 令和3年12月1日（水）  
場 所： 加茂市産業センター 大ホール  
参加者： 47人  
内 容： 「まだ間に合う！ 糖尿病予防と認知症予防」について  
講 師： 上村医院 院長 上村伯人

**（2）中学生に対する生活習慣病予防等教育（Ⅱがん検診等受託事業と共同事業）**

中学生に対し、がんをはじめとした生活習慣病についての基礎知識や検診の重要性について普及啓発を行った。

開催市町村： 9市  
開催中学校： 12中学校  
出席生徒数： 1,924人

- ア 村上市立村上東中学校  
実施日： 令和3年6月2日（水）  
受講者数： 180人  
内 容： いま10代の諸君に知って欲しい「がん」のこと  
講 師： 済生会新潟病院 外科部長 田邊 匡

- イ 村上市立岩船中学校  
実施日： 令和3年9月16日（木）  
受講者数： 90人  
内 容： 胃がんのお話  
講 師： 厚生連新潟医療センター 副院長 佐藤 祐一

- ウ 小千谷市立小千谷中学校  
実施日： 令和3年10月5日（火）  
受講者数： 150人  
内 容： 「がん」について考えてみませんか？  
講 師： 新潟市民病院 消化器外科 副部長 亀山 仁史

- エ 佐渡市立赤泊中学校  
実施日： 令和3年10月12日（火）  
受講者数： 35人  
内 容： 「がん」について  
講 師： 新潟県労働衛生医学協会 会長 佐藤 幸示

- オ 小千谷市立千田中学校  
実施日： 令和3年10月27日（水）  
受講者数： 127人  
内 容： “いのち” についての講演会  
講 師： 新潟大学大学院医歯学総合研究科  
新潟地域医療学講座 特任教授 井口 清太郎
- カ 糸魚川市立糸魚川東中学校  
実施日： 令和3年11月9日（火）  
受講者数： 43人  
内 容： “いのち” についての講演会  
講 師： 新潟県柏崎地域振興局 局長 山崎 理
- キ 新発田市立本丸中学校  
実施日： 令和3年11月10日（水）  
受講者数： 520人  
内 容： “いのち” についての講演会  
講 師： 五泉中央病院 院長 高橋 姿
- ク 南魚沼市立大和中学校  
実施日： 令和3年11月11日（木）  
受講者数： 123人  
内 容： “がん” についてのお話し  
講 師： 新潟大学大学院保健学研究科 教授 小山 諭
- ケ 新発田市立猿橋中学校  
実施日： 令和3年11月12日（金）  
受講者数： 500人  
内 容： “いのち” についての講演会  
講 師： あがの市民病院 病院長 藤森 勝也
- コ 長岡市立寺泊中学校  
実施日： 令和3年12月7日（火）  
受講者数： 60人  
内 容： 高齢化社会と消化器がんについて  
講 師： 新潟大学医学部 消化器疾患診療ネットワーク講座  
特任准教授 上村 博輝



サ 加茂市立加茂中学校  
実施日： 令和3年12月9日（木）  
受講者数： 61人  
内 容： 「がん」と言う病について  
講 師： 新潟県立加茂病院 院長 秋山 修宏

シ 魚沼市立湯之谷中学校  
実施日： 令和3年12月10日（金）  
受講者数： 35人  
内 容： 「がん」から身を守る  
講 師： 新潟県労働衛生医学協会 医師 月岡 恵

### （3）中学生に対する歯と口の健康づくり教育（新規）

中学生に対し、「歯と口の健康づくり」と題して、啓発活動を行い、将来、歯周病による全身疾患の発症リスクを抑え、健康寿命の延伸につなげるために以下の3中学校で講演会を開催した。

ア 長岡市立寺泊中学校  
開催日： 令和3年7月21日（水）  
受講者数： 60人  
講 師： 新潟大学大学院医歯学総合研究科  
口腔健康科学講座 う蝕学分野 教授 野杵 由一郎

イ 新潟市立上山中学校  
開催日： 令和3年11月17日（水）  
受講者数： 246人  
講 師： 新潟大学大学院医歯学総合研究科  
口腔健康科学講座 う蝕学分野 教授 野杵 由一郎

ウ 燕市立小池中学校  
開催日： 令和3年11月29日（月）  
受講者数： 176人  
講 師： 新潟大学大学院医歯学総合研究科  
口腔健康科学講座 う蝕学分野 教授 野杵 由一郎

### （4）各種健康づくりイベントへの参加

来場者への特定健診等の普及啓発を行った。

ア 知る・学ぶ「福祉・介護・健康」in上越 ブース出展

実施日： 令和3年11月3日(水)  
場所： 高田城址公園オーレンプラザ  
内容： リーフレット配布  
配布数： 200部

イ 知る・学ぶ「福祉・介護・健康」 in新潟 ブース出展  
実施日： 令和3年11月23日(火)  
場所： 新潟日報メディアシップ  
内容： 歩行姿勢測定、血管年齢測定、リーフレット配布  
来場者数： 160人

#### (5) ホームページを活用した情報提供活動

財団ホームページについて、県民が利用しやすい内容として健康づくり情報の発信等を行った。

### 4 広報による受診勧奨（Ⅱがん検診等受託事業及びⅢ生活習慣病予防普及啓発等事業と共同事業）

#### (1) 広告媒体を用いた普及啓発等

ア JR広告（「Ⅱがん検診等受託事業」と共同事業）

4月から1年間、県内エリアのJR電車内のドア上に、特定健診及びがん検診の受診勧奨広告を掲載した。

イ ラジオコマーシャル（「Ⅲ生活習慣病予防普及啓発事業」と共同事業）

B S Nラジオにおいて4月から1年間、生活習慣病予防啓発及び特定健診、がん検診の受診勧奨を目的として、週2回コマーシャルを放送し、さらに令和4年3月に、パブリシティーとしてHPVワクチンの接種推進の広報活動を実施した。

また、FM-NIIGATAにおいて4月から8月に生活習慣病予防啓発及び特定健診、がん検診の受診勧奨を目的として、週2回コマーシャルを放送し、5分間のラジオコーナーにおいて、がん検診の受診勧奨を行った。

ウ YouTube広告（新規）

若い世代を含む広い世代への受診勧奨を目的として、10月から12月までYouTube広告によりがん検診及び子宮がん検診の受診勧奨動画を配信した。  
(再生回数 がん検診39.3万回 子宮頸がん検診36.8万回)

#### (2) 普及啓発用リーフレットの配付

健康寿命の延伸に向け、特定健診受診勧奨用リーフレットやメタボなど特定保健指導対象者向けリーフレットを市町村国保、県内3国保組合へ配付し、住民への生活習慣病予防の意識啓発を図った。

## II がん検診等受託事業

### 1 がん検診事業に係るコーディネート

#### (1) がん検診等に係る業務

新潟県の「健(検)診ガイドライン」に基づき、全県統一方式で実施されるがん検診並びに肝炎ウイルス要指導者等施設検診の問題点を把握し、全県的な取りまとめ及び検討、並びに検診事業を円滑に実施するためのコーディネート等を行った。

( ) 内は令和2年度実績

#### ア 胃がん検診

契約市町村数	30	( 30 )
受診者数	69,806人	( 59,413人)

#### イ 子宮がん検診

##### 車 検 診

契約市町村数	27	( 28 )
受診者数	25,644人	( 18,699人)

##### 施 設 検 診

契約市町村数	27	( 28 )
受診者数	18,583人	( 19,597)

##### 体がん検診

契約市町村数	2	( 2 )
受診者数	356人	( 342人)

#### ウ 肺がん検診

##### X線写真読影

契約市町村数	30	( 30 )
受診者数	181,050人	( 155,989人)

##### 喀 痰 検 査

契約市町村数	29	( 30 )
受診者数	2,980人	( 2,601人)

#### エ 乳がん検診

##### 集団(マンモ)

契約市町村数	30	( 29 )
受診者数	45,043人	( 36,259人)

施設(マンモ)

契約市町村数	20	( 18 )
受診者数	12,580人	( 12,343人)

オ 大腸がん検診

契約市町村数	30	( 30 )
受診者数	120,310人	( 109,730人)

カ 肝炎ウイルス二次検診

契約市町村数	2	( 2 )
受診者数	352人	( 188人 )

キ 前立腺がん検診

契約市町村数	12	( 12 )
受診者数	6,458人	( 5,241人)

(2) 市町村健康診査等担当者研修会 (「I 特定健診・特定保健指導支援事業」と共同事業)

(3) 健康診査事業合同打合せ会 (「I 特定健診・特定保健指導支援事業」と共同事業)

(4) 精度管理調査事業

伝統ある「新潟県検診機関協議会」の質の向上を図り、県民に“安心”して健(検)診を受診してもらうため、「新潟県検診精度管理調査委員会」において実態調査を行った。

また、県の委託により、市町村が行うがん検診を受託する全ての医療機関に対し精度管理調査を行い、検診体制の実態を把握し、質の高い検診体制の構築を図るために必要な基礎資料を作成した。調査実績は以下のとおりである。

	調査機関数	回答機関数
肺がん(集団)	10	10
胃がん(集団)	12	12
胃がん(個別)	74	39
胃内視鏡	141	100
乳がん(集団)	9	9
乳がん(個別)	29	27
子宮がん(集団)	9	9
子宮がん(個別)	91	71
大腸がん(集団)	13	13
大腸がん(個別)	382	269

## 2 検診データ等の評価・分析

### (1) 悪性新生物（がん）登録収集業務

県の委託により関係医療機関への届出用CD-R等の配付、がん登録情報の収受など、がん対策を効果的、効率的に推進するための情報収集事業を行った。

登録票受付件数	28,130件	(29,511件)
届出医療機関数	145機関	(180機関)

( ) 内は令和2年度実績

### (2) 検診結果統計分析事業

「Ⅱ－1－(1) がん検診等に係る業務」に記載の各種がん検診実績数の検診結果について、全県的な統計分析を行い市町村等関係者に結果報告書を作成し配付した。また、希望市町村に対し個人の検診結果を電子データで還元した。

がん検診データ還元 ( ) 内は令和2年度実績

・胃がん検診実施市町村数	3	( 3 )
・子宮がん検診実施市町村数	3	( 3 )
・乳がん検診実施市町村数	3	( 3 )
・肺がん検診実施市町村数	3	( 3 )
・大腸がん検診実施市町村数	3	( 3 )
・前立腺がん検診実施市町村数	1	( 1 )

### (3) がん検診データ等一元化事業

県内で実施されている事業所検診等の健(検)診の実態把握が不十分であり、健(検)診事業の全体把握ができない現状であることから、がん検診結果について県検診機関協議会の協力を得て、事業所検診等の任意型検診の結果を収集し分析した。

### (4) 疫学調査事業

令和2年度の各種(胃・子宮・肺・乳・大腸)がん検診結果に基づき「がん」又は「がんの疑い」と診断された者に対する疫学調査を実施した。

また、平成30年度実施分の結果を取りまとめ「集検から発見された胃がん」「集検から発見された肺がん」として報告書を作成し、関係者に配付した。

さらに、疫学調査により報告された患者に対する追跡調査(平成28年度・平成30年度がん検診受診者)を実施した。

	(令和2年度分) 疫学調査	(平成28年度・平成30年度分) 追跡調査
・胃がん検診実施件数	133件	467件
・子宮がん検診実施件数	87件	96件
・肺がん検診実施件数	243件	420件
・乳がん検診実施件数	140件	542件
・大腸がん検診実施件数	309件	931件

### 3 研究・研修の推進

#### (1) 新潟県がん検診研究会

がんに関する普及啓発、調査研究及び発症予防等を総合的に推進するため、新潟県がん検診研究会の円滑な運営等を支援した。

会 長	新潟県保健衛生センター会長	横山 晶
会 員 数	個人 10人	団体 73団体
令和3年5月24日 (月)	第1回理事会	書面協議
令和3年10月12日 (火)	第2回理事会	書面協議
令和4年3月14日 (月)	第3回理事会	書面協議

第33回新潟県がん検診研究会総会を次のとおり開催した。

開催期間：	令和4年2月10日(木)～令和4年3月9日(水)
開催方法：	WEB開催(オンデマンド配信)
閲覧数：	78回
内 容：	
講演1	「将来のがん検診手法研究について」
講演2	「コロナ対策と受診勧奨」
講 師	公益財団法人日本対がん協会 がん検診研究プロジェクトディレクター 小西 宏

#### (2) 新潟県検診機関協議会

新潟県検診機関協議会が目的とする県民保健福祉の向上に寄与するための検診技術及び精度の向上、情報交換並びに調査研究等の円滑な運営等を支援した。

会 長	新潟県健康づくり財団理事長	渡部 透
会 員 数	25団体	
令和3年4月22日 (木)	第1回役員会	書面協議
5月25日 (火)	定例総会	書面協議
令和4年2月22日 (火)	常任幹事会	Zoom開催
3月18日 (金)	第2回役員会	書面協議
3月18日 (金)～28日 (月)	検診従事職員研修会	WEB開催

### (3) 新潟県肺がん検討委員会並びに地域肺がん検討委員会

新潟県肺がん検討委員会並びに地域肺がん検討委員会(12地域)において、肺がん検診の円滑な実施及び運営を図るとともに「県生活習慣病検診等管理指導協議会」の肺がん検診部会との連携を図った。

委員長 新潟県保健衛生センター会長 横山 晶

委員 6人

地域肺がん検討委員会(12地域)

(設置地域) 新潟・村上・新発田・五泉・三条・長岡  
魚沼・南魚沼・十日町・柏崎・上越・佐渡

新潟県肺がん検討委員会・地域肺がん検討委員会合同会議を次のとおり書面協議により実施した。

実施日： 令和4年3月9日(水)

議題：

- ア 新潟県肺がん検討委員・地域肺がん検討委員の交替について
- イ 令和2年度肺がん検診結果報告について
- ウ 令和元年度肺がん検診疫学調査・追跡調査について
- エ 令和2年度地域肺がん検討委員会開催状況

### (4) 新潟県乳がん検討委員会並びに地域乳がん検討委員会

新潟県乳がん検討委員会並びに地域乳がん検討委員会(5地域)において、「県生活習慣病検診等管理指導協議会」の乳がん検診部会との連携により乳がん検診の円滑な実施及び運営を行った。

委員長 新潟県立がんセンター新潟病院院長 佐藤 信昭

委員 14人

地域乳がん検討委員会(5地域)

(設置地域) 新潟・下越・中越・魚沼・上越

新潟県乳がん検討委員会・地域乳がん検討委員会合同会議を次のとおりZOOMによるWEB会議を実施した。

実施日： 令和3年12月8日(水)

議題：

- ア 令和2年度乳がん検診結果報告等について
- イ 令和元年度乳がん疫学調査結果報告について
- ウ 令和2年度地域乳がん検討委員会の開催状況について
- エ 令和2年度乳がん検診セミナーの開催について
- オ 「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」の変更点について

## (5) 新潟県前立腺がん検討委員会

新潟県前立腺がん検討委員会において、前立腺がん検診の円滑な実施及び運営を図るとともに「県生活習慣病検診等管理指導協議会」の胃がん・大腸がん検診部会(前立腺がん検診の内容含む)との連携を図った。

委員長 新潟大学大学院医歯学総合研究科  
腎・泌尿器病態学分野 教授 富田 善彦

委員 12人

前立腺がん検討委員会を次のとおり開催した。

実施日： 令和4年3月12日(土)

場所： 新潟県医師会館401、402会議室

議題：

- ア 令和2年度前立腺がん検診結果等について
- イ 新潟県における検診発見前立腺がんの実態調査について
- ウ 前立腺がん検診判定基準等調査結果について
- エ その他

## 4 がん予防と受診率向上に向けた普及啓発活動

### (1) 新潟はっぴー乳ライフ事業

「新潟はっぴー乳ライフ」事業として開催するピンクリボンホリデーのイベントを実施し、乳がん予防の啓発を図った。

令和3年5月11日(火)	第1回実行委員会	WEB開催
6月29日(火)	第2回実行委員会	〃
9月14日(火)	第3回実行委員会	〃
12月14日(火)	第4回実行委員会	〃
令和4年3月1日(火)	第5回実行委員会	〃

「ピンクリボンホリデー2021」を次のとおり開催した。

開催日： 令和3年10月17日(日)～令和3年11月16日(火)

開催方法： ハイブリッド開催(リアルタイム配信+録画配信)

参加者： リアルタイム配信45名、録画配信507回

内容：

・リレー講座

「一歩踏み出して 今年も乳がん検診へ。今年こそ乳がん検診へ。」

ア 「病院診療の実際」

新潟県福祉保健部健康づくり支援課(保健師) 本間 あやの

イ 「～知っておきたい～マンモグラフィ検診のきほん」

日本歯科大学新潟病院 診療放射線技師 滝沢 友香

ウ 「自己触診の必要性/乳がん診断後の支援体制について」



長岡赤十字病院 乳がん看護認定看護師 大野 弘美  
エ 「検診で『精密検査が必要』と言われたら」  
にいがた乳腺クリニック 院長 長谷川 美樹  
オ 「乳がん体験談」  
あけぼの新潟 江森 美奈子

・講演

「コロナ禍だからこそ身につけたい、乳房を意識する新しい生活様式  
～ブレスト・アウェアネスと乳がん検診の正しい知識～」

静岡県立静岡がんセンター

乳腺画像診断科・生理検査科部長 植松 孝悦

(2) 市町村と共同で開催する講演会 (I 特定健診・特定保健指導支援事業と共同事業)

(3) 中学生に対する生活習慣病予防等教育 (I 特定健診・特定保健指導支援事業と共同事業)

(4) 肝炎対策の普及啓発

新潟大学医歯学総合病院肝疾患相談センターと協働し、B・C型肝炎ウイルス感染の早期発見・早期治療に繋げるため、市民公開講座を開催し普及啓発を行った。

開催期間： 令和3年7月26日(月)～8月22日(日)

開催方法： WEB開催(オンデマンド配信)

参加者： 56人

内容：

ア 肝臓の働きについて

新潟大学医歯学総合病院 肝疾患相談センター 特任助教 薛 徹

イ B型肝炎ウイルスについて

新潟大学大学院医歯学総合研究科

消化器疾患診療ネットワーク講座 特任准教授 上村 博輝

ウ C型肝炎ウイルスについて

新潟大学大学院医歯学総合研究科

健康寿命延伸・消化器疾患先制医学講座 特任助教 渡邊 雄介

エ アルコール性肝炎について

新潟大学大学院医歯学総合研究科消化器内科学分野

助教 坂牧 僚

オ 非アルコール性脂肪性肝疾患について

新潟大学大学院医歯学総合研究科

健康寿命延伸・消化器疾患先制医学講座 特任准教授 横尾 健

- カ 自己免疫性肝炎について  
新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器内科学分野  
医員 酒井 規裕
- キ 原発性胆汁性胆管炎について  
新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器内科学分野  
医員 木村 成宏
- ク 肝硬変について  
新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器内科学分野  
講師 土屋 淳紀
- ケ 肝細胞癌について  
新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器内科学分野  
特任助教 阿部 寛幸
- コ 肝炎啓発活動について  
新潟大学医歯学総合病院 肝疾患相談センター  
特任助教 荒生 祥尚

#### (5) ホームページを活用した情報提供活動 (再掲)

### 5 広報による受診勧奨

(Ⅰ 特定健診・特定保健指導支援事業及びⅢ 生活習慣病予防普及啓発等事業と共同事業)

### III 生活習慣病予防普及啓発等事業

#### 1 円滑な事業実施を図るための取組み

(1) 普及啓発用備品整備貸出等 (I 特定健診・特定保健指導支援事業と共同事業)

#### 2 健診データ等の評価分析

##### (1) 脳卒中情報システム事業

県の委託により、医療機関からの退院時情報提供及び脳卒中発症調査票並びに市町村からの脳卒中調査票を収集し、審査・集計・解析の上、報告書を関係機関に配付した。

なお、本事業は令和3年度をもって終了した。

退院時情報提供受理件数	338件	提出医療機関数	9施設
脳卒中調査票受理件数	184件	提出市町村数	16市町村
脳卒中発症調査受理件数	556件	提出医療機関数	41施設

#### 3 研究・研修の推進

##### (1) 新潟県糖尿病対策推進会議

糖尿病に関する普及啓発、調査研究及び発症予防等を総合的に推進するため、新潟県糖尿病対策推進会議の円滑な運営等を支援した。

会 長 新潟県健康づくり財団理事長 渡部 透  
会 員 数 個人 12人 団体 69団体

令和3年7月28日(水)	第1回幹事会	WEB開催
9月14日(火)	第1回理事会	書面協議
令和4年3月9日(水)	第2回理事会	書面協議

第8回新潟県糖尿病対策推進会議総会を次のとおり開催した。

開催日： 令和3年11月28日(土)

場 所： 新潟県医師会館、WEB(ハイブリッド)開催

参加者： 新潟県医師会館15人、WEB接続数55

内 容：

ア シンポジウム

テーマ 「COVID-19禍における糖尿病対策」

座 長 上村医院 院長 上村 伯人

演題1 「コロナ禍における糖尿病診療」

新潟市民病院 内分泌・代謝内科部長 宗田 聡

演題2 「食事指導～コンビニ・総菜のおかずを使った簡単・満足レシピ～」

新潟大学医歯学総合病院 栄養管理部 鶴田 恵

演題3 「糖尿病患者さんに運動してもらうためのはじめの一步  
～スマートフォン活用のすすめ～」  
新潟大学医歯学総合病院  
診療支援部リハビリ部門 堀田 千晴

イ 特別講演

演 題 「なぜアドボカシーが必要か - ステイグマから探る -」  
座 長 厚生連長岡中央総合病院 糖尿病センター長 八幡 和明  
講 師 公益社団法人 日本糖尿病協会 理事長 清野 裕

## (2) フレイル克服プロジェクト

県の委託により県民の健康寿命の延伸を図るため、「加齢予防介入モデル事業」と「疾病介入モデル事業」を両輪とし、関係機関からの協力を得て事業を実施した。

令和3年7月2日（金）フレイル対策二次予防等事業実施報告会

令和4年2月5日（土）フレイル克服対策講習会（ライブ配信）

視聴者数： 70名

・加齢予防介入モデル事業

ア 関係機関： 関川村「健脚・健脳うんどう日」

開 催 日： 令和3年11月10日（水）～令和4年2月16日（水）

参 加 者： 39名参加

実施内容： 10m歩行速度、握力、基本チェックリスト、  
脳年齢測定等

イ 関係機関： トキめき会（佐渡市）

開 催 日： 令和3年6月11日（金）～12日（土）参加者：66人

9月3日（金）～4日（土）参加者：38人

12月24日（金）～25日（土）参加者：82人

実施内容： 10m歩行速度、握力、バランス機能、筋肉量、  
認知機能、視力、聴力等

・疾病介入モデル事業

関係機関： 新潟南病院、佐渡総合病院、信楽園病院

テ ー マ： フレイルを伴う高齢心不全患者へのリハビリ介入

関係機関： 新潟大学大学院医歯学総合研究科  
消化器・一般外科学分野

テ ー マ： 消化器外科手術症例におけるフレイル評価の有用性

関係機関： 新潟大学医学部 消化器疾患診療ネットワーク講座

テーマ： 肝疾患のサルコペニアにおける栄養状態

関係機関： 新潟南病院

テーマ： 身体的フレイル高齢患者に対する独歩プロジェクト「DOPPO」

関係機関： 新潟大学歯学部摂食嚥下リハビリテーション学分野

テーマ： 歯科外来患者における口腔機能低下症診断の実態調査

## 4 生活習慣病と受診率向上等に向けた普及啓発活動

### (1) 生活習慣病予防事業功労者表彰

「第37回がん征圧新潟県大会」において表彰式を行う予定だったが、中止となったため、個別に表彰を行った。

受賞者：

ア 保健文化賞受賞記念特別表彰

個人 児玉 省二 医師

イ 公益財団法人新潟県健康づくり財団理事長表彰

個人 木村 道夫 医師

早津 正文 //

小林 功 診療放射線技師

団体 該当なし

### (2) 生活習慣病予防展

生活習慣病の正しい知識の普及、各種検診の受診率の向上等を目的として、がん征圧県大会と同時開催している生活習慣病予防展については、コロナ感染拡大防止のため中止とした。

### (3) ホームページを活用した情報提供活動（再掲）

## 5 広報活動

### (1) 広報による受診勧奨

ア 新聞広告等

新型コロナウイルス感染症の影響によるがん検診の受診率の減少を考慮して、新潟日報朝刊にがん検診の受診勧奨広告を掲載した。

掲載日：令和4年3月20日（日）

イ フリーペーパー広告

子育て世代の女性を主なターゲットに、フリーペーパー「はっぴーママ」に3回にわたり受診勧奨の広告を掲載した。

・4月25日発行分： コロナ禍でのがん検診の受診勧奨

- ・ 6月25日発行分 : 乳がん検診の受診勧奨
- ・ 8月25日発行分 : 子宮がん検診の受診勧奨

#### ウ サイネージ広告

万代シティバスセンター内の発着番線10柱のデジタルサイネージに11月から3月までがん検診受診勧奨動画を放映し、バス待ちの乗客や買い物客へ向けた受診勧奨を行った。

- |                  |      |
|------------------|------|
| エ ポスター・リーフレットの配布 | (部数) |
| ・ポスター「がん征圧月間」    | 350枚 |
| ・ポスター「禁煙推進」      | 350枚 |

## (2) 機関紙「陽光」発行

健康増進に関する論評、研究成果、その他普及啓発活動の状況及び統計資料等を内容とした機関紙「陽光」を3回発行し、市町村(公民館を含む)をはじめ関係団体、がん征圧維持会員等に配付しPRに努めた。

#### ア 第30号

- 「ピロリ菌と胃がん予防」  
厚生連新潟医療センター 副院長 佐藤 祐一
- 「新型コロナウイルス感染症流行下におけるがん検診受診の重要性について」  
新潟県福祉保健部健康づくり支援課

#### イ 第31号

- 「フレイル一次予防の取り組みートキめき会」  
新潟医療福祉大学リハビリテーション学部理学療法学科  
講師 堀田 一樹
- 「フレイル予防の栄養学」  
新潟県立大学人間生活学部健康栄養学科 准教授 村山 稔子
- 「ピンクリボンホリデー2021 リレー講座」  
にいがた乳腺クリニック 院長 長谷川 美樹

ほか講師3名

#### ウ 第32号

- 「口腔ピロリ菌の闇に迫る-万病のはじまりはくちからか-」  
新潟大学大学院医歯学総合研究科  
口腔健康科学講座 う蝕学分野 教授 野杵 由一郎

○「HPVワクチンに関する最新情報」

新潟大学医学部産科婦人科学教室

関根 正幸、黒澤 めぐみ、山口 真奈子、工藤 梨沙、

安達 聡介、榎本 隆之

## IV がん予防普及啓発活動

### 1 がん征圧に向けた普及啓発活動

#### (1) がん征圧維持会員募集及び寄附受入れ

##### ア がん征圧維持会員募集実績

・ 法人会員	自治体会員	30市町村	1,200,000円
	医師会会員	16団体	400,000円
	検診団体会員	24団体	240,000円
	一般法人会員	46団体	473,000円
・ 個人会員		44人	186,000円
	( 合 計 )		2,499,000円 )

##### イ 寄附受入れ実績

・ 個人寄附		1人	10,000円
	( 合 計 )		10,000円 )

#### (2) 第37回がん征圧新潟県大会

令和3年10月1日に柏崎市での開催を予定していた第37回がん征圧新潟県大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

#### (3) 働く世代のがん対策セミナー（がん治療と就労両立支援セミナー）

働く世代のがん検診受診率向上やがんになっても働き続けられる環境の充実を目指し、主に企業の経営者や人事労務担当者を対象としたセミナーを、新潟県、新潟産業保健総合支援センターとの共催により次のとおり開催した。

開催期間： 令和4年2月1日（火）～令和4年2月28日（月）

開催方法： WEB開催（オンデマンド配信）

申込数： 122人

内 容：

ア 「社員の安全と健康の新しい考え方－職場におけるがん対策－」

新潟県医師会理事・産業保健部長 中平 浩人

イ 「支援機関による治療と仕事の両立支援の取組について－実際に

事業場を支援する立場から－」

新潟産業保健総合支援センター

労働衛生専門職（両立支援担当） 木村 明子

両立支援促進員（社会保険労務士） 永田 功二

両立支援促進員（社会保険労務士） 北嶋 伸

ウ 企業における健康経営の取組事例紹介

日本海曳船株式会社

常務取締役 近藤 清司、総務部次長 佐近 直之



株式会社高館組

取締役・総務部担当部長（健康推進・働き方改革担当）

高館 陽子

エ 「新潟県地域両立支援推進チームについて－治療と仕事の両立支援に関する相談先のご案内－」

新潟労働局労働基準部健康安全課

主任安全専門官 白倉 康弘

#### （４）ホームページを活用した情報提供活動（再掲）

## 2 広報による受診勧奨（Ⅰ特定健診・特定保健指導支援事業及びⅡ がん検診等受託事業と共同事業）

## V 研究研修事業

### 1 研究・研修の推進

#### (1) 健康診査従事者研修会

診療放射線技師、臨床検査技師、細胞検査士、保健師等、生活習慣病検診に従事する職員の資質及び技術の向上を図る目的で、新潟県及び新潟県検診機関協議会と共催で次のとおり開催した。

開催期間： 令和4年3月18日（金）～28日（月）

開催方法： WEB開催（オンデマンド配信）

参加者： 第一分科会 72人

第二分科会 80人

第三分科会 24人

内 容：

##### ア 第一分科会

講演1 「村上コホート研究とビタミンD」

講師 新潟大学大学院医歯学総合研究科環境予防分野  
教授 中村 和利

講演2 「ALP・LDのIFCC法について」

講師 山梨大学医学部附属病院 臨床検査技師 山崎 浩和

##### イ 第二分科会

講演1 「新型コロナウイルス感染症の現状と基礎知識」

講師 国立病院機構西新潟中央病院 統括診療部長 桑原 克弘

講演2 「胃がん検診における禁忌事項の取扱いについて」

講師 新潟県労働衛生医学協会  
健診部ウェルネス検診センター 主任 木村 雄

##### ウ 第三分科会

講演1 「対策型検診における喀痰細胞診の成績と  
「標準細胞」の活用について」

講師 宮城県対がん協会 検査課 田名部 朋子

講演2 「呼吸器の細胞診～判定と鑑別診断を中心に～」

講師 東京医科大学病院 病理診断科 技師長 三宅 真司

#### (2) 細胞検査士研修会

肺がん検診及び子宮がん検診の受診拡大及び精度向上を図るため、細胞検査士の資質向上を目的として、県の委託により研修会を次のとおり開催した。

開催日： 令和4年2月1日（火）～2月15日（火）

開催方法： WEB開催（オンデマンド配信）

参加者： 97人

内 容：

症例検討「呼吸器領域の教育的症例」

座 長 新潟大学医学部 病理組織標本センター 助教 大橋 瑠子

講 師 新潟大学歯学部 口腔病理学 助教 阿部 達也

新潟大学医学部 臨床病理学 助教 高村 佳緒里

新潟県立がんセンター新潟病院 病理診断科

医長 西田 浩彰

### (3) 乳がん検診セミナー

本県の乳がん検診事業をより円滑に推進するため、実施体制の整備充実と検診精度向上に資することを目的として、県の委託により次のとおり開催した。

開 催 日： 令和4年3月9日（水）

開催方法： WEB開催（ライブ配信）

参加者： 70人

内 容：

講演1 「乳がん検診と新型コロナウイルス感染症への対応について」

講 師 新潟県労働衛生医学協会 診療放射線技師 山崎 薫

講演2 「乳がん検診最近のトピックス

-ブレスト・アウェアネス・J-START 第二報-

講 師 済生会新潟病院 外科部長 田邊 匡

### (4) 子宮がん検診セミナー

本県の子宮がん検診事業をより円滑に推進するため、実施体制の整備充実と検診精度向上に資することを目的として、県の委託により次のとおり開催した。

開 催 日： 令和4年3月15日（火）～3月29日（火）

開催方法： WEB開催（オンデマンド配信）

参加者： 100人

内 容：

講演1 「子宮頸がんの1次予防（HPVワクチン）と2次予防（検診）」

講 師 新潟大学医学部 産科婦人科学教室

教授 榎本 隆之

講演2 「新潟県における子宮がん検診の状況と対策」

講 師 新潟南病院 産婦人科部長 児玉 省二

# [ 収益事業等 ]

## I 特定健診等健康情報管理還元代行等事業

### 1 特定健診等健康情報管理電子化業務代行事業

特定健診料金の請求処理業務を迅速化するため、特定健診結果の電子化業務を健診実施機関から受託し請求業務を代行した。

特定健診結果電子化代行処理業務	476機関	74,757件	(73,585件)
-----------------	-------	---------	-----------

( ) 内は令和2年度実績

### 2 特定健診結果個人結果通知書作成事業

特定健診等個人結果通知書の作成依頼があった健診実施機関又は保険者に対し、受診者の特定健診等結果を作成し提供した。

特定健診個人結果通知書作成業務	2市・56機関	3,754件	(3,161件)
-----------------	---------	--------	----------

( ) 内は令和2年度実績

### 3 健康づくり及び生活習慣病等に関する印刷物等の頒布事業

生活習慣病予防活動を推進し県民の健康の保持増進を図るため、がん検診等について、分かりやすく解説したリーフレット、冊子を市町村・健（検）診実施機関向けに頒布した。

(リーフレット)

・がん検診	7施設	4,300部
・乳がんのセルフチェック	27施設	46,730部

(冊子)

・がんのしおり	25施設	25冊
・生活習慣病のしおり	55施設	55冊

## 事業報告附属明細書

令和3年度は「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、定款第12条第1項第2号に規定する事業報告の附属明細書は作成しない。